

市政記者各位

福岡市経済観光文化局コンテンツ振興課

「2023アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」受賞作品展を開催します！

九州大学をはじめとした産学官の組織によりメディアアートコンペティション「2023 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」受賞作品展を以下のとおり開催します。展覧会では、アジアデジタルアート大賞や福岡市長賞をはじめとする素晴らしい受賞作品の数々を展示します。科学と芸術が融合した先端的な表現をぜひ体感してください。



「2023 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」受賞作品展について ※詳細は **別紙1** 参照

1. 会 期：令和6年3月12日（火）～3月17日（日）
2. 時 間：9:30～17:30（最終日のみ9:30～16:00）※入場は30分前まで
3. 会 場：福岡市美術館 2階 ギャラリーA・B・C・D・E（福岡市中央区大濠公園1-6）
4. 入場料：無料

大賞受賞者によるクリエイターストーク

「VR アニメーションデザイン～大賞作品『耳に棲むもの』をとおして～」

1. 日 時：3月15日（金）15:00～16:30
2. 会 場：福岡市美術館 2階 ギャラリー
3. 入場料：無料（オンライン配信あり）

※詳細は **別紙2** 参照



アジアデジタルアート大賞受賞/経済産業大臣賞

その他、受賞作品について一部紹介します！！

福岡市長賞/学生カテゴリ エンターテインメント（産業応用）部門大賞
作品名：RadiantVR: Immersive Heat Experience



仮想空間上の炎等の熱源を、座った状態でリアルに感じるハロゲン電球を用いたシステム

※各受賞作品は以下 URL からご確認ください。
<https://adaa.jp/ja/winners/winners2023.html>



◆アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA に関すること
アジアデジタルアート大賞展実行委員会事務局
(九州大学大学院芸術工学研究院内)
電話：092-553-4432

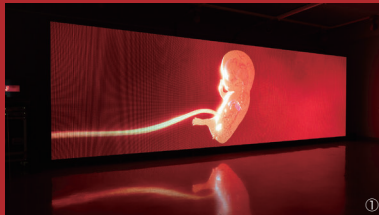
◆本リリースに関すること
経済観光文化局国際経済・コンテンツ部
コンテンツ振興課 的野
電話：092-711-4332（内線 2590）

AAA

2023 アジアデジタルアート 大賞展 FUKUOKA

Asia Digital Art Award FUKUOKA 2023 Award Winners Exhibition

受賞作品展



KODANSHA 小川洋子×山村浩二 講談社VRラボ

耳に棲むもの

My Inner Ear Quartet

Yoko Ogawa × Koji Yamamura

監督 山村浩二 / 原作 小川洋子
脚本 小川洋子・山村浩二
プロデューサー 石丸健二
エグゼクティブプロデューサー 野間省伸
声の出演 男：岡田将生 / 少年：川口朝
音楽監督 太田昌孝 / 音楽 上野耕路
CGディレクター Gee Yeung / リードUnityエンジニア Jorge Pedrero Reyna
ラインプロデューサー 鹿野由美子 / プロダクションマネージャー 玉那覇優衣
企画・制作 講談社VRラボ

Director Koji Yamamura / Author Yoko Ogawa
Script Yoko Ogawa, Koji Yamamura
Producer Kenji Ishimaru
Executive Producer Yoshinobu Noma
Voices Man: Daman Mills / Boy: Nicholas Young
Music Koji Ueno / Sound Director Masataka Ota
CG Director Gee Yeung / Lead Unity Engineer Jorge Pedrero Reyna
Line Producer Yumiko Kano / Production Manager Yui Tamasaha
Planning, Production Kodansha VR Lab, Ltd.

© COPYRIGHT KODANSHA LTD. ALL RIGHTS RESERVED



①徐秋成《燃える心》 ②熊谷 美美子 / 作曲: 歩く人 / 歌: 春風 詩音《SEPIA NOTES》 ③篠田 隼人《光彩翹》 ④Kolle《Knot #1A / Knot #1B / Knot #1C》
⑤山村 浩二、小川 洋子、石丸 健二《耳に棲むもの》 ⑥演田 輝、大嶺 太聖《RadiantVR: Immersive Heat Experience》 ⑦山岸 奏大《Grasp(er)》 ⑧実験東京(安野 貴博、山根 有紀也)《幻視影絵》

2024 3.12 - 17

TUE. - SUN.

福岡市美術館

9:30 - 17:30
※入場は終了時間の30分前まで

主催：2023アジアデジタルアート大賞展実行委員会
(九州大学 / 福岡県 / 福岡市 / 北九州市 / 西日本新聞社 / ラブエフエム国際放送株式会社)

後援：総務省 / 文化庁 / 経済産業省 / CG-ARTS(公益財団法人 画像情報教育振興協会) / 一般財団法人デジタルコンテンツ協会
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 / 一般社団法人九州経済連合会 / (公財)福岡市文化芸術振興財団
NPO法人映像産業振興機構 / NHK福岡放送局 / 株式会社ワコム

助成：公益財団法人福岡文化財団

協力：アジアデジタルアートアンドデザイン学会 / 九州大学未来デザイン学センター

協賛：公益財団法人柿原科学技術研究財団 / 株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント / 株式会社レベルファイブ
Cygames 佐賀デバッグセンター・Cygames 佐賀スタジオ / Mol.t HAKATA EAST TERRACE
株式会社ニューロマジック / 株式会社サイバーエージェント / チームラボ / SCSK株式会社
クリエイティブ・ラボ・フクオカ / C&R Creative Studios / 株式会社ゼネラルアサヒ / 株式会社ジオ技術研究所
株式会社ミドリ印刷 / さくらインターネット株式会社 / スライスファクトリー株式会社 / 株式会社ワイドレジャー





原作 Yoko Ogawa

小川 洋子 オンライン出演



監督 Koji Yamamura

山村 浩二



プロデューサー Kenji Ishimaru

石丸 健二

ADAAクリエイターズトーク

VRアニメーションデザイン

～大賞作品『耳に棲むもの』をとおして～

日本を代表する二人のストーリーテラーが作り上げたVRアニメーション作品「耳に棲むもの」。小説家、小川洋子さんが初挑戦したオリジナルアニメーション原作をVR初挑戦の山村浩二監督が引き継ぎ、いかにVRアニメーション作品に落とし込んでいったのか？企画の立ち上げから脚本開発・コンテンツ制作のプロセスに沿って二人の挑戦を紐解きます。

NT.
DESIGN



3.15²⁰²⁴ (Fri.) 15:00-16:30

福岡美術館 2階 ギャラリー
(福岡県福岡市中央区大濠公園 1-6)

入場無料
下記 QR コードから
要事前登録

会場参加
登録 **50**名



オンライン
視聴登録



【司会】

松隈 浩之 (Hiroyuki Matsuguma)

九州大学大学院芸術工学研究院准教授

【登壇者プロフィール】

小川 洋子 (Yoko Ogawa)

小説家

大学卒業後、1988年「揚羽蝶が壊れる時」で海燕新人文学賞を受賞してデビュー。主な著書「妊娠カレンダー」、「博士の愛した数式」、「密やかな結晶」、「ことり」、「掌に眠る舞台」など。最新刊はエッセイ集「からだの美」(文藝春秋社刊)。

山村 浩二 (Koji Yamamura)

アニメーション作家・絵本作家

1990年代は子供向け作品を制作。「頭山」(2002)が第75回アカデミー賞にノミネート、アニメーション、ザグレブ他6つのグランプリを受賞、「今世紀100年の100作品」の1本に選出される。「カフカ 田舎医者」(2007)がオタワ他7つのグランプリを受賞、アニメーション監督作品の受賞は140を超える。2021年、過去25年間の優れた世界の短編監督25人のトップ2に選出。長編「幾多の北」(2021)がアニメーション・コントルジャン・クリスタル賞とオタワでグランプリを受賞。絵本「おやおや、おやさ」(文:石津ちひろ)「ちいさなおおきなぎ」(文:夢枕 獺、第65回小学館児童出版文化賞受賞)「ばれーど」(文・絵)など100タイトルを超える絵本に携わる。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞、紫綬褒章受賞。映画芸術科学アカデミー(米)会員、ASIFA日本支部理事会員、日本アニメーション協会副会長、東京藝術大学大学院映像研究科教授。

石丸 健二 (Kenji Ishimaru)

株式会社講談社 VRラボ代表取締役・プロデューサー

2005年から13年間CGプロダクションのポリゴン・ピクチュアズのプロデューサーとして映画・テレビシリーズ・プロジェクションマッピングなど幅広いメディアの映像を手掛ける。2018年に講談社VRラボの代表取締役に就任後は、VRに特化した映画の企画・制作し、さらにVRアイドル「Hop Step Sing!」のVRミュージックビデオやVRライブをプロデュースするなど、多様なジャンル・トピックスのVRコンテンツを世界に向けてリリースし、国際映画祭等で高い評価を獲得している。主なプロデュース作品は、2023年にオタワ国際アニメーションフェスティバルでベストVR賞受賞した山村浩二監督・小川洋子原作の「耳に棲むもの」、2022年にベネチア国際映画祭ノミネート、ADCゲーム部門金賞を受賞した作道雄監督の「Thank you for sharing your world」、2021年にザグレブ国際アニメーション映画祭でベストVR賞を受賞した水尻自子監督の「オタワムレ」など。

